

視点3 町屋空間の応用

とおり庭沿いの空間・外部と内部が相貫する生活

前庭と奥庭をつなぐ「とおり庭」。
とおり庭上にある玄関ポーチを抜けると、完全な外部空間、ピロティー状のテラス、池などがレベル差を持ちながら連続する。屋内空間は、すべてこの「とおり庭」沿いにリニアに並べられ、外部と内部が相貫する豊かな生活の場をつくり出す。



とおり庭沿いに広がる内部空間



ダイニングコーナーから奥庭を望む

奥庭と池

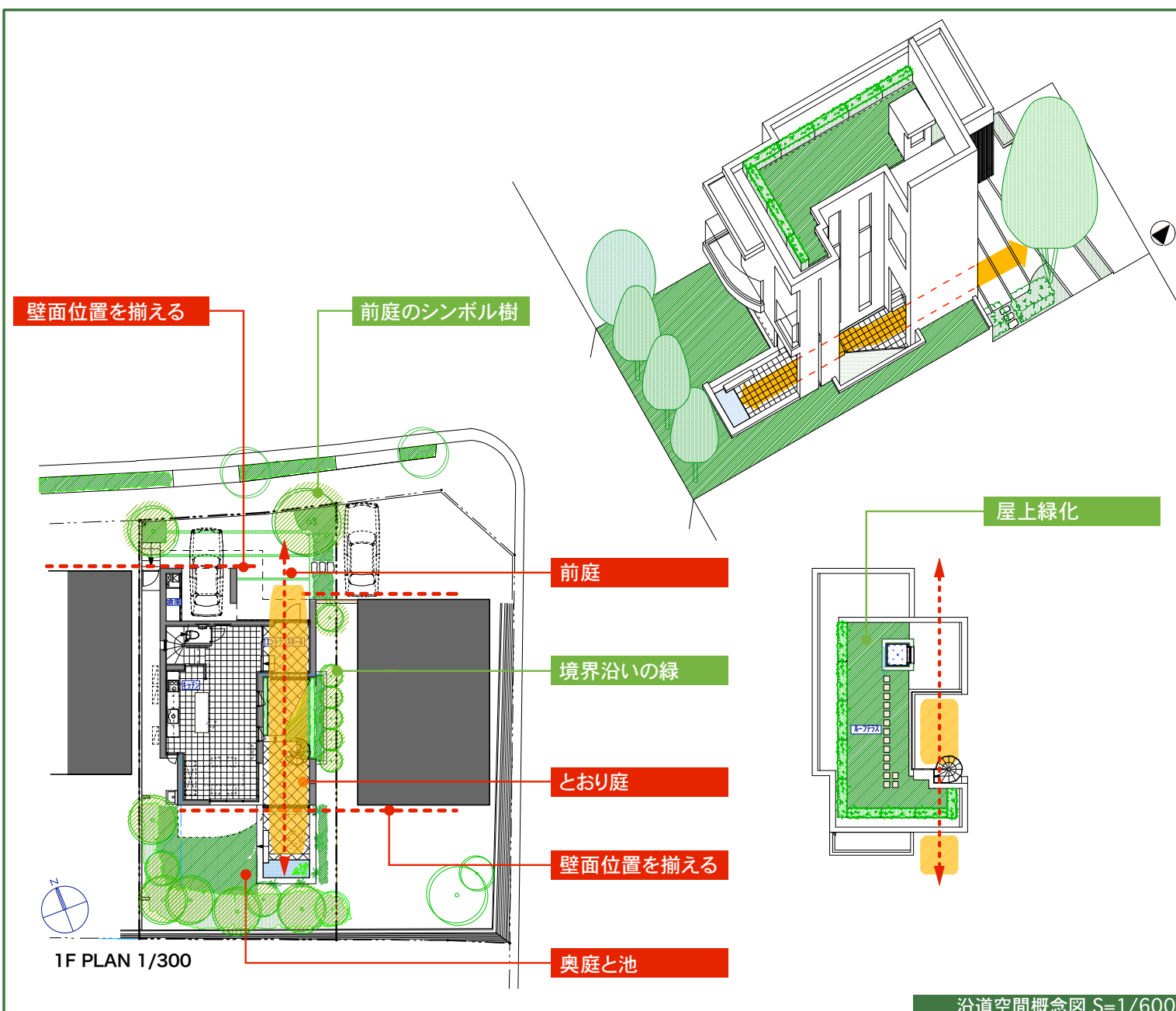
奥庭からとおり庭を見返す

視点4 地域環境の改善・向上

失われた土地（庭）は屋上で復活

新たな生活の場として

敷地分割により失われた元の庭の拡がり
高密度化する住宅地においては、屋上に新たな生活（庭）空間が求められる。
丘陵地の南斜面に位置するこの住宅地では、前面建物を超えて眺望が広がる。



- 概要1**
- 応募者名
SKM設計計画事務所 柴田知彦
 - 作品名称
横浜M邸
- 概要2**
- 設計者
SKM設計計画事務所 柴田知彦
 - 施工者
池田建設株式会社 本店
- 概要3**
- 所在地
神奈川県横浜市
 - 敷地面積
219.74㎡(元約400㎡を分割)
 - 用途地域
第1種低層住居専用地域
 - 建ぺい率/容積率
40%/60%
 - 前面道路
幅員約9.0m
 - 用途
専用住宅
 - 規模
RC造 地上2階
 - 延床面積
123.31㎡(56.1%)
 - 建築面積
78.89㎡(35.9%)